連休期間における家畜防疫対策の 徹底をお願いします！

高病原性鳥インフルエンザは本年2月1日以降、家きん飼養農場での発生はありませんが、4月に入っても国内の野鳥でウイルスが検出されています。

豚熱については、国内で広く野生いのししの感染が確認されており、本年4月には宮崎県で新たに感染事例が確認されています。

一方、現在国内で発生のない口蹄疫やアフリカ豚熱は、近隣諸国やアジア地域で発生が継続し、口蹄疫については、韓国で本年3月に牛農場で1年10か月ぶりの発生が確認され、4月には豚農場で発生が続いています。

アフリカ豚熱についてもアジア地域に広く浸潤しており、韓国では継続的な発生が確認されています。

大型連休を迎え、海外との人の往来や国内における人の動きが活発化することから、農場へのウイルス侵入防止対策を徹底するようお願いいたします。

➤ 病原体の侵入防止対策

- ▶ アフリカ豚熱、口蹄疫等発生地域への渡航を自粛する。
- ▶ 国内への持込が禁止されている肉製品等が持ち込まれることがないように、外国人技能実習生等に周知徹底する。
- ▶ 違法に持ち込まれた肉製品等を確認した場合は、直ちに動物検疫所に連絡する。
- ▶ 観光客を含め関係者以外が衛生管理区域へ立ち入らないように看板等による掲示を徹底する。
- ▶ 衛生管理区域および畜舎の専用衣服・長靴を着用し、交換時の交差汚染を防止するように管理する。
- ▶ 車両、物品、人の消毒の徹底（※消毒前に汚れを除去）する。
- ▶ 防護柵・ネットの設置・点検・修繕により野生動物の侵入を防止する。

➤ 異状家畜の早期発見

- ▶ 毎日の健康観察を入念に行い、早期発見に努める。
- ▶ 飼養家畜で異状を発見した場合の早期通報を周知徹底する。

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします！
東濃家畜保健衛生所

TEL:0573-26-1111(内395) FAX:0573-25-7669

時間外及び休日に連絡の必要な場合は0573-26-1114にご連絡ください。